

### 3 既存の情報を有効に活用する


最後に学校全体で特別支援教育の取組を進める上で活用できる冊子等を紹介しします。ほとんどの内容はホームページ等からダウンロードが可能ですので研修等で活用し、校内における取組の推進に活用してください。

すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック ～ユニバーサルデザインに基づく、発達障害の子どもだけでなく、すべての子どもにあると有効な支援～	
提供元	高知県教育委員会
提供方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県内各公立小・中学校に、通常学級数配布済み（平成25年3月）</li> <li>・Web上にPDF形式データを掲載 (<a href="http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/guide.html">http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/guide.html</a>)</li> </ul>
<p>特別な教育的支援を必要としている子どもに対して、個別の指導・支援を充実させることは大切ですが、個別の手立てだけが教育的支援ではありません。集団活動や一斉指導における環境設定や指示、教材教具等を工夫することで、集団参加の機会を保障することも大切な教育的支援です。様々な実態のある子どもがいる中で、どのような工夫があればどの子どもも参加、学習できる環境や授業になるのか、考え方と実践例をまとめたものが、『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック』です。</p> <p>すべての障害者のあらゆる人権及び基本的自由を保障する『障害者の権利に関する条約』の理念を実現するには、“障害があるから、その困難さに対して個別に支援する”という考え方だけでなく、“障害の有無に関わらず、同じように生活、学習できる機会を保障する”インクルーシブ教育の理念が極めて重要です。そして、インクルーシブ教育の理念を実現させるためには個別の指導・支援の充実に加えて、ユニバーサルデザインの考え方が不可欠です。すべての子どもが輝く学校づくりを進めるために、日々の実践に活用ください。</p>	


教室等の環境や授業のユニバーサルデザイン化は特別支援教育の枠にとどまらず、すべての子どもにとって必要な手立てとして高知県教育センター発行の『高知県授業づくりBasicガイドブック』でも取り上げられています。専門的なスキルでなく、教師として当然身につけるべきスキルとして、その視点、考え方を日々の実践及び校内研修における授業研究にも取り入れていくことが大切です。



**すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック**  
 ～ユニバーサルデザインに基づく、発達障害の子どもだけでなく、すべての子どもにあると有効な支援～  
 — 実践事例集 Vol.1 —

提供元	高知県教育委員会
提供方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県内各公立小・中学校に、1冊ずつ配布済み（平成27年3月）</li> <li>・Web上にPDF形式データを掲載                  (<a href="http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/guide.html">http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/guide.html</a>)</li> </ul>
<p>平成25年度のガイドブックも参考にしながら『特別支援教育を柱に据えた学校づくり事業』、『ユニバーサルデザインによる学校はぐくみプロジェクト事業』の事業指定校をはじめ、高知県内の多くの保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校でユニバーサルデザインの視点を大切にした実践がなされています。それらの取組をまとめたものがこの冊子です。実際に園、学校で取り組まれている実践例として日々の実践に活用してください。</p>	
	

**発達障害等のある幼児児童生徒の支援をつなぐ  
 就学時引き継ぎシート（例）・支援引き継ぎシート（例）**

提供元	高知県教育委員会
提供方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web上にPDF形式、Word形式、Excel形式データを掲載                  (<a href="http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/hikitugi.html">http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/hikitugi.html</a>)</li> </ul>
<p>校種間をまたいで、それまでに積み上げた指導や支援を確実に次の学校へとつないでいくために、考えられる項目等をまとめたシート（例）です。WebにはWord、Excel形式のデータも掲載していますので、適宜ダウンロードし、活用ください。</p>	
	
<p>様式例、記入例だけでなく、取り扱い方など引き継ぎシートに関するより詳細な説明も掲載されています。</p>	

## つながるノート

提供元	高知県地域福祉部 障害保健福祉課
提供方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web上に各シート様式データを掲載 (<a href="https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/060301/tsunagaru.html">https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/060301/tsunagaru.html</a>)</li> <li>活用マニュアルのPDF形式データを上記Web上に掲載（冊子としても平成25年に各小・中学校へ配布済み）</li> </ul> <p>※発達障害の診断または疑いがある人のうち、利用を希望される人については利用申込書を提出することで高知県庁障害保健福祉課、療育福祉センター、各市町村等でファイルとして受け取ることが可能です。</p>

「つながるノート」は、発達障害のある人が、乳幼児期から成人期までを通して、様々な生活場面のニーズに応じた一貫した支援を受けられるようになるとともに、関係機関の連携を推進していくことを目的に高知県が作成し、高知県庁障害保健福祉課、療育福祉センター、各市町村等において、本人や家庭に配付しているものです。

「つながるノート」自体は学校が入手することはできませんが、「つながるノート」を構成する各シート様式は、Excel形式ファイルでダウンロードし活用が可能です。活用方法についてもWeb上に掲載していますので、「つながるノート」を活用した校内支援会の開催に役立ててください。

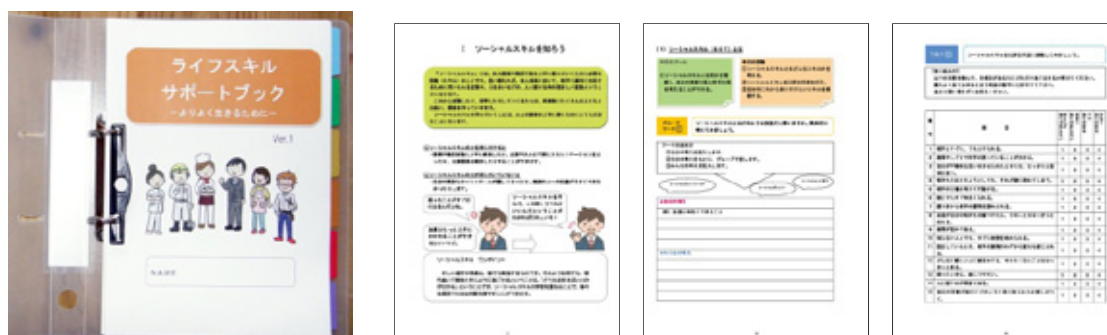


## ライフスキルサポートブック

～ よりよく生きるために ～ Ver.1

提供元	高知県教育委員会 特別支援教育課
提供方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web上にPDF形式データを掲載 (<a href="http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/2016051100048.html">http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/2016051100048.html</a>)</li> </ul>

対人関係を上手に築いていくためのソーシャルスキルを含む、将来一人で生活を送っていくことができるためのスキル、『ライフスキル』を身につけるためのテキストです。子ども自身がこのサポートブックに目を通し、考えながら必要なスキルを身につけることができるようになっています。



## 特別支援教育学校コーディネーターサポートブック

～ 伝え合い・響きあいながら ～

情報提供元	高知県教育センター
情報提供方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県内各公立小中学校に、1冊ずつ配布済み（平成21年3月）</li> <li>・Web上にPDF形式データを掲載 (<a href="http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310308/tokusi-suport.html">http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310308/tokusi-suport.html</a>)</li> </ul>

平成21年度末に教育センターが作成、配布した校内支援体制充実へ向けて知っておきたい情報をまとめた冊子です。作成から5年以上が経ち、新たな考え方やツールをお伝えするために新冊子作成が必要となりましたが、こちらの冊子にも『学級づくりのチェックシート』や『学習達成把握シート』等、現在でも活用できるツール等が掲載されています。



## 特別支援学級担任 通級による指導担当教員のためのサポートブック

提供元	高知県教育センター
提供方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度ごとに新任特別支援学級担任研修対象者及び新任の通級による指導担当教員に配布</li> <li>・Web上にPDF形式データを掲載 (<a href="http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310308/tokusi-suport2.html">http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310308/tokusi-suport2.html</a>)</li> </ul>

初めて特別支援学級の担任や通級指導教室の担当となった先生方が、教育課程や障害特性について理解し、指導・支援に臨むために高知県教育センターでは『特別支援学級担任 通級による指導担当教員のためのサポートブック』を作成しています。発達障害を含めた様々な障害特性に対する学習場面や、日常生活での配慮支援が簡潔にまとめられ、掲載されています。



## インクルDB（インクルーシブ教育システム構築支援データベース）

情報提供元	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
情報提供方法	・Web上に掲載 ( <a href="http://inclusive.nise.go.jp/">http://inclusive.nise.go.jp/</a> )

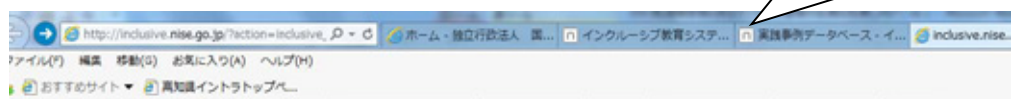
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所は障害のある子どもの教育の充実・発展に寄与するため、昭和46年に文部省直轄の研究所として設置された機関です。研究活動や研修事業を実施するとともに、Web (<http://www.nise.go.jp/cms/1.html>) 等を通じて様々な情報発信を行っており、その一つがこの『インクルDB』です。

『インクルDB』にはインクルーシブ教育システム構築へ向けた相談コーナーや法令・施策等の用語解説コーナーなど様々な有益な情報が掲載されていますが、特に「合理的配慮」実践事例データベースは全国の園、学校から集められた実践例が掲載されており、一人一人の子どもに提供できる合理的配慮を検討する上で参考にできます。

平成29年2月末現在では247の事例が紹介されていますが、今後も事例は追加されていきます。是非一度閲覧いただき、目の前の子どもにできる合理的配慮の提供を含め、指導・支援の参考としてください。



対象児童生徒の障害種、学校種、学年を入力していくことで実践事例を閲覧できます。  
(PDF形式データによるダウンロードも可能です。)



(写真2) 黒板の行を示すカラーシールとノートのカラーシール

オ キーボードを五本指で演奏するための教具の工夫  
 キーボードハーモニカの五本指奏法の手形の指導のために綿を入れたお手玉を手に取り付けて五本の指で弾く練習をした(写真3)。それまでは促しても一本指で弾いていたのが、五本指奏法で弾くようになった。